外国語活動学習指導案

指導者 T1 吉岡 欣哉

T2 Glendy Soriano

1 日 時 令和元年 11 月 21 日 (木) 第 6 校時

2 学 年 第5学年1組(31名)

3 単元名 What would you like? 料理・値段(We Can! 1 Unit8)

4 単元について

【単元観】

本単元では,英語にも場面に応じた丁 寧な表現があることを学ぶ。児童は,こ れまで学習した"What do you want?""I want ~."という表現を使用する場面と比 べて, "What would you like? ""I'd like ~."を使う場面は何が違うのかを考 える。そして、日本語の場合もそうであ るように, 言葉は場面や相手との関係に よって使い分ける必要があることに気付 くことをねらいとしている。また、料理 名を推測して単語を読む活動, 注文する 言い方や料理名を丁寧に書き写す活動を 通して、読むこと、書くことにさらに興 味をもたせ慣れ親しませる。家族のため にスペシャルメニューを考えるというこ とで, 意欲につながる単元である。

【児童観】

本学級の児童は、外国語の授業に意欲的に取り組むことができる。外国語アンケートでは、「外国語の授業に進んで参加しています。」(100%) 「授業以外で英語を使ってみたい」(86%)のように、肯定的な回答結果が見られた。しかし、その一方で、英語で自分のことや意見を発表する場面を苦手としている児童が数名いる。

「書くこと」においては、慣れ親しんだ語句を「書き写す」、「文構造を意識して書く」活動を行ってきた。アルファベットの学習で、高さや似ている形の観点で比較・分類をする活動を行ったことで、4線における位置を意識して書くことができるようになってきているが正確性やスピードには差が見られる。

「読むこと」においては、推測しながら読むことができている児童もいるが、最初からあきらめてしまう児童もいるので、ジングルを sound and letter につなげ、読む活動につなげている。





【指導観】

本単元の導入では、世界の名物料理に出会わせ、そこに記されている文字を見せることで、世界の国には色々な文字や料理があることに気付かせ、興味・関心を高める。また、日本語でも丁寧な言い方があるように、英語でも丁寧な表現をしながらやり取りを行う場面を設定した。最初に本単元のゴールをイメージできるよう、ALT と HRT がレストランで家族のために考えたメニューを見せながら会話をするというデモンストレーションを見せる。"What would you like?" "I'd like ~."という表現を使ったり、値段の聞き方や味覚、食べ物の特色を表わす表現も使ったりしながら、場に応じた適切な表現を身につけさせていきたい。また、食べ物には興味・関心が高まることが予想される。そこで、児童が自信をもって活動ができるように、スモールトークやチャンツ・アクティビティで十分に聞き慣れや言い慣れをさせていきたい。さらに、これまでの学習のつながりを意識させ、既習の表現も使わせていきたい。また、作成したメニューを参考にして、単元ゴールの活動の際に参考にできるように、注文したい料理名を書き写し、メニュー表として残していく。4線のどの位置に文字を書くのかに留意させながら、書くことに慣れ親しませていきたい。

本時においては,家族のためのスペシャルメニューを注文するやり取りを行う。そのやり取りを通して丁寧な注文の言い方、料理名に慣れさせる。また、そのメニューを発表することに向けて原稿として書くことで、書く必然性をもたせていきたい。

5 単元目標

- 【コ】意欲的に、丁寧に欲しいものを尋ねたり答えたりしようとする。 場面や相手に応じて、金額や感想など、必要な情報を伝え合おうとする。
- 【慣】欲しいものを丁寧に尋ねたり答えたりする表現や金額を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。

簡単な語句を書き写すことや, 文字の音に慣れ親しむ。

【気】欲しいものを丁寧に尋ねたり答えたりする表現があることに気付く。

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
①進んで,丁寧に欲しいものを	①欲しいものを丁寧に尋ねたり	①英語にもその場に応じた丁寧
尋ねたり答えたりしようとし	答えたりする表現や,金額を	な表現で欲しいものを尋ねた
ている。	尋ねたり答えたりする表現に	り答えたりする表現があるこ
②金額や感想など,場面や相手	慣れ親しんでいる。	とに気付いている。
に応じて,必要な情報を伝え	②簡単な語句を書き写すこと	
合おうとしている。	や, 文字の音に慣れ親しんで	
	いる。	

7 単元ゴール

コミュニケーションの 目的・場面・状況	家族のためのスペシャルメニューを考え,友達に紹介する。
目指す発話例	This is for my father. It's いっぱい食べて元気に仕事がんばってね menu. I'd like fried chicken, rice, pizza, a parfait and coffee. This parfait, it's so sweet. It's 1,230 yen.

8 言語材料(下線は新出表現, 語彙)

0 言品的特(下線は利田衣坑, 品果)			
主な表現	主な語彙		
· What would you like?	飲食物 (curry and rice, French fries, fried		
· <u>I'd like (spaghetti).</u>	chicken, grilled fish, radish, broccoli, mineral		
· It's for (my brother).	water, parfait, bread ,drink, soda pop , green		
· This is for (my brother).	tea, beefsteak, rice, yogurt),家族(father,		
· How much?	mother, sister, brother, grandfather,		
· It's (970 yen).	grandmother),busy, enjoy, would, special,		
· Here you are. Thank you.	healthy, menu, meal, restaurant, dessert,		
•	main, side, 数 (seventy, eighty, ninety,		
· Here's your change.	hundred), vest, wolf, spicy, sweet,		
· It's (spicy).	delicious, hot, cold		

9単元計画と評価(全6時間)

7 +	元計画と評価(至6時間)	
時	目標(◆), 主なやり取り等(□)	評価規準・評価方法
1	 誌面化されている活動(・),その他活動内容(○) ◆単元のゴールを知り、学習の見通しをもつ。 ◆世界のいろいろな料理について知る。 ・上et's Watch and Think 1 · Food Jingle ・pointing game(food, family) A: What do you want? B: I want fried chicken. C: What would you like? A: I'd like fried chicken. A: Oh, fried chicken. Here you are. B: Thank you. 	【慣①,気①】 行動観察・発言・振り返り カード分析
2	◆友達に欲しい料理(メインメニュー、サイドメニュー)を尋ねたり答えたりする。 ◆注文した料理について、2~3文で書く。 ・Food Jingle ・Buzz game ・Pointing game ・Let's Watch and Think2 ・Small Talk (main dish, side dish) ・Let's read and write A: What would you like for your main dish? B: I'd like beefsteak. A: OK, beefsteak. What would you like for your side dish? B: I'd like salad and bread. A: OK, salad and bread. Here you are. B: Thank you.	【コ①,慣①②】 行動観察・発言・振り返り カード分析
3 本時	◆友達に欲しい料理(ドリンクメニュー,デザート)を尋ねたり答えたりする。 ◆注文した料理について、2文で書く。 ・Food Jingle ・Buzz game ・Let's Listen2 ・Small Talk (dessert, drink) ・Let's read and write A: What would you like for your dessert? B: I'd like a parfait. A: OK, a parfait. It's sweet. Here you are. B: Thank you. A: What would you like to drink? B: I'd like coffee. A: OK, coffee. It's hot. Here you are. B: Thank you. A: You are welcome.	【コ①,慣①②】 行動観察・発言・振り返り カード分析

◆丁寧に注文したり,値段を尋ねたり答えたりする。 【32,慣32】 Food Jingle · Let's Listen3 行動観察・発言・ワークシ · Buzz game ·Small Talk (値段を含めた注文したい料理) ート・振り返りカード分析 · Sounds and Letters A: What would you like for your side dish? B: I'd like pizza and salad. A: OK, pizza and salad. Pizza, it's delicious. B: How much is it? A: It's 1,300 yen. B: Here you are. A: Thank you. ◆丁寧な注文の仕方や値段の言い方の表現を使い, スペシャルメニ 【112,慣2】 ューについて聞いたり言ったりすることができる。 行動観察・発言・振り返り カード分析 · Food Jingle · Activity1 · Sounds and Letters A: What would you like? B: I'd like fried chicken, rice, pizza, a parfait and coffee. A: Ok, fried chicken, rice, pizza, a parfait and coffee. B: How much is it? A: It's 1230 yen. B: Here you are. A: Thank you. ◆スペシャルメニューを発表することができる。 【二①②, 慣②】 ◆スペシャルメニューについて話を聞いたり, 感想を伝え合ったり 行動観察・発言・振り返り しようとする。 カード分析 · Food Jingle · Sounds and Letters · Activity2 This is for my father. It's いっぱい食べて元気に仕事がんばっ

10 本時の計画

(1) 目標

・スペシャルメニューを、丁寧な言い方で、注文を尋ねたり答えたりする。

てね menu. I'd like fried chicken, rice, pizza, a parfait and

coffee. This parfait, it's so sweet. It's 1,230 yen.

・音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を、やり取りしたカードを参考にして書く。

(2) 評価規準

【慣】・欲しいものを丁寧に尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。

【慣】・基本的な表現で書かれたものを、やり取りしたカードを参考に書いている。

(3) 準備物

・ワークシート・本単元の内容に係る絵カードの掲示・振り返りカード

(4) 展開

児童の活動	指導者の活動・使用英語例 (T1 T2)	◎評価規準
1 挨拶をして食べ物や値段の復習をする。		
Food JingleBuzz game	Let's say a Food Jingle. Let's play Buzz game.	

活動の見通しをもつ。

家族のために注文したものを書こう。

[Let's Listen 2]

Who is she? What's this? How much?

- 4 Small Talk
 - ①指導者同士
 - ②教師と児童
 - ③児童同士
 - A: What would you like for your dessert?
 - B: I'd like a parfait.
 - A: Ok, a parfait. It's sweet. Here you are. B: Thank you.

 - A: What' would you like to drink?
 - B: I'd like coffee.
 - A: Ok, coffee. It's hot. Here you are.
 - B: Thank you.
 - A: You are welcome.
- 5 Let's read and write

自分の注文したメニューをワークシー トに書く。

気をつけること

- ・大文字と小文字
- ・スペース
- 高さ
- ・似ている形
- ・ピリオド

- T1「Kosei の祖母は何を注文するだろう」と投げ かけ予想させ、「答えを確かめたい。」という意欲 をもたせる。
- T1 祖母が注文したものを分かった後, 祖母になっ て注文を繰り返させる。
- T1 祖母が注文した料理の金額を予想させる。
- T1 T2 Small Talk.
- T1 前時の学習を想起し,「for your ~」と「to drink」との違いに気付かせる。
- T1T2 児童に「What would you like for ~?」と 質問をし、「I'd like ~.」を用いて答えさせる。T1 店員と客と言うスタンスで、「丁寧に尋ねたり答 えたりする場面」と言う設定を大切にする。
- T1 家族のためのメニューを注文することを確認す る。
- T1 よい反応や繰り返し、味などの付け加えを行っ ているペアを評価し、よいコミュニケーションに ついて具体的に共通理解させ,後半の活動を行 う。

【慣】丁寧に欲し いものを尋ねたり 答えたりしてい

く行動観察・振り 返りカード>

- T1メニューの中から自分がやり取りしたことを書 くことを伝える。発表の原稿用に残しておくため に書くことを伝える。
- T1 書く見本を行う際に, 気を付けるポイントにつ いて確認を行う。
- T2 Support students
- T1T2 大文字や小文字の違いやスペース,似ている 形,文字の高さをチェックする。
- T1 早く書き終えた児童は、注文を読む練習をさせ る。ペアが終わった場合は、ペアでワークシート を交換し, お互いにチェックを行う。

【慣】・基本的な表 現で書かれたもの を, やり取りした カードを参考に書 いている。くワー クシート・振り返 りカード>

6 本時の授業を振り返る。

振り返りの視点

- 分かったこと。
- ・できるようになったこと。
- 次は~したい。
- 難しかったこと。
- もっと知りたいこと

T1 活動を評価後,振り返らせ,数人に発表させる。 OGreeting.

(例)

- ・丁寧な表現を使って、注文したり受けたりすることができた。
- ・注文したメニューを書くことができた。
- ・他の班の友達がどんなメニューを考えているのか知りたくなりました。
- ・自分が注文したメニュー以外のことも書いてみたい。

11 板書計画

